

松前町誌編さん審議会 会議録

1 開催日時	令和7年5月30日(金) 16時～16時45分
2 開催場所	松前町役場 3階 大会議室
3 出席者 (敬称略)	【会長】 升田年紀 【副会長】 麻生英毅 【委員】 大野宏貴、岡田敏彦、伊賀上恒英、辻正道、 郷田和美、村上一郎、大西多美子 【事務局】 総務課長：平村展章 町誌編さん室 久保美文、大西千香、和田欣也 【委託業者】 セキ株式会社
4 議題	(1) 町誌編さんの経過について (2) 自然環境編（地形・地質、気候、生物）の原稿について (3) 行政編（行政（議会）、生活環境）の原稿について
5 会議の公開	公開
6 傍聴人数	0名
7 議事内容	
(発言者) 事務局 会長	1 開会 2 会長挨拶 3 審議会の公開、会議録の作成について 会議は原則公開とし、公にすることで事業の適正な遂行に支障を及ぼす場合がある事項は非公開とすること、会議録はホームページ等で公開することを報告。
会長（議長）	事務局へ報告依頼 「町誌編さんの経過について」
委託業者	4 議題 (1) 町誌編さんの経過について 【説明の概要】 資料に沿い、各編の進捗状況・予定を説明

会長（議長）	質問・意見なし 「町誌編さんの経過について」終了。
会長（議長）	事務局へ報告依頼 「自然環境編（地形・地質、気候、生物）の原稿について」
委託業者	4 議題 (2) 自然環境編（地形・地質、気候、生物）の原稿について 【説明の概要】 ・ 中学校、高等学校、大学の先生（OB含む）の協力を得て、原稿を作成した。 ・ 地形・地質、気候に関しては、主に昭和50年以降の現状をコンパクトにまとめた。生物に関しては、白黒の状態でも植物や動物が認識できるような写真を掲載している。
会長（議長）	質問・意見のある方に挙手を求める。
委員	地形について、（前の町誌で）塩屋地区や北黒田地区の砂丘の分析に関する写真は掲載していたのか。明治や昭和頃の地形（に関する写真）を見ると砂丘のラインが残っている。現在は痕跡がみられないが、原稿に載っている写真（昭和48年頃）では、1つ（砂丘の）ラインが確認できるが、分かりやすい写真ではないと思う。もっと他に表現ができないか。 また、（原稿が）専門的な言葉になっており、「不整合に覆う」「粘土・シルト層（違い）」などは一般的には分かりにくいと感じた。（「粘土・シルト層」は）「粘土層」にする、「不透水層をなす（粘土・シルト層）」は「不透水層となっている」などの（表現）の方が一般的に分かりやすいのではないか。
事務局	専門的な言葉については、御意見を踏まえ、注釈を入れるか言い回しを変更し、一般の方が見て分かるように調整したい。 塩屋海岸の写真については、昔と今が比較できる写真を並べた方が分かりやすいという御意見もある（現在の原稿は、昔の写真の上に埋立部分を図式化し、写真に挿入している状態）。変化が見えるような掲載方法を検討したい。写真の調整が難しいようであれば、現状の図を掲載したいと考えている。

委員	今の地形が昔研究したもの（昭和54年刊行の町誌の掲載内容）と大きくは変わっていないという理解でいいのか。
事務局	埋立てなどもあったため、地形は全く同じではないので、それが写真で見比べて分かるようになればより良いと考えている。
委員	気候について、前の町誌には一年の気温の変化が載っていたが、（今回提出された原稿の）図は（年ごとの）平均気温で表している。前の町誌と比べられたらいいと思う。最高気温も昔は28度ぐらいであったと思うが、今は35度ぐらいとなっている。（現在の図では変化が）ぱっと見て分からないので上昇が分かるような載せ方はないか。 次に、生物について、前の町誌のことが書いてあるので、（前の町誌の）ページ数が（今回の町誌に）あれば比較しやすいと思う。また、塩屋海岸の松林は、ボランティアの手によって長くなった。グループが努力してきたことを載せるところはないか。河口については、「アサリ」に関する記載がない。子どもが小さい頃は、潮干狩りに行っていた記憶がある。近頃は見つけられないが、前の町誌刊行頃（昭和50年代）はたくさん採れていたと思う。私たちの生活感としては、アサリの記載があっても良いと思った。
事務局	気候については、経過が分かるようグラフを入れるか検討した結果、現在の表（数字のみ掲載）となっている。再度、目で見えて気温の変化が分かる見せ方について検討したい。 前の町誌との比較については、ページの付記などの対応ができれば良いと思うが、その他の編でも多数出てくる。全体的に原稿が固まってきた時点で該当箇所がどのぐらいあるか確認し、対応を検討したいので、保留とさせていただきたい。 松林の活動については、一度調べさせていただく。現時点で第1編が当初の予定ページ数より多くなっている。コラムなどの形で入れられそうであれば、入れさせていただきたい。 潮干狩りについては、（アサリの）増減状況を確認したい。状況が分かれば、簡単に情報を追記する形をとる。
会長（議長）	松前町と松山市の気候の対比があるが、どのような意図があるのか。

事務局	松山地方気象台が松山市にあるので、松前町との違いが見られるかを伝えるため掲載している。気象庁（松山地方気象台）の数値と比較するののかということもあるが、松前町の町誌なので、松前町の記録も残した方が良いとの意図で載せている。
会長（議長）	松山市の記載がなくても良いと感じた。
事務局	松前町の記録が、平成22年からしかない。（編さん中の町誌は）概ね昭和52年以降の内容となるので、その期間（の記録の掲載）がないのは情報が不足してしまうので、現状はこの形で掲載している。
委員	学術論文のように文章を証明するための図表や計測の図表などが、たくさん掲載されているが、そこまで必要かという感じもする。検討してみていただきたい。
委員	動植物について、一般的に最近外来種が多いといわれている。文章の中で在来種と外来種かの区別が一目で分かる方法はないか。（区別をつけることで）外来種が増えている様子が分かると思う。
事務局	外来種の生物に印を付けるなどの対応はとれると思うが、外来種が多いと印が多くなり見えにくくなる懸念もある。外来種がどこまで整理できるかを含め、検討させていただきたい。
委員	16ページの神寄川の動物について、「恵久美を元気にする会」という会の名前があるが、かぎ括弧があればはっきりするのではないか。
事務局	入れさせていただく。
会長（議長）	8ページに「年度」と「年」が混在した文がある。何か違うのか。
事務局	平成4年度の調査が年をまたいでいたので「年度」を、平成22年は1回の調査であったので（「年」と記載した）。確かに、同じ文中に「年度」と「年」が並ぶと違和感があるので統一させていただく。
会長（議長）	10ページに（文章が）1行だけある（図の下に1行、文章が掲載されている状態）。読みにくいので手直しをしていただきたい。

事務局	組版に入るときに、その他のページにおいても、1行だけ中途半端に残らないよう調整させていただく。
会長（議長）	質問・意見なし 「自然環境編（地形・地質、気候、生物）の原稿について」終了。
会長（議長）	事務局へ報告依頼 「行政編（行政（議会）、生活環境）の原稿について」
事務局	4 議題 (3) 行政編（行政（議会）、生活環境）の原稿について 【説明の概要】 ・ 8章予定としているが、1章追加を検討中である。 ・ 役場内の担当部局と調整をして原稿作成した。
会長（議長）	質問・意見のある方に挙手を求める。
委員	議員の名簿について、議場に座るときの並び順なのか、議員歴の順なのか。
事務局	議席番号順である。注釈を入れさせていただく。
委員	水道料金の表について、今年度上がったことが加えられていない。記載した方がいいのではないかと。 24ページの白石さん（白石春樹元県知事）の名前について、以前の審議会でも（石の字の）点について議論されたが、どうなったのか。
事務局	水道料金については、（原稿中の）表は基本水量10m ³ 当たりの料金を記載しているが、改定後は変わっている（基本水量が見直されている）。（水道料金値上がりは表ではなく）本文中で説明している。 白石春樹元知事（の名前）については、石に点をつける形で全て統一させていただく。
委員	山鳥坂ダムについて、今年、予算がつき工事が再開された新聞記事を読んだ。原稿は、2008年までのことを書いているが、付け加えなくて良いのか。情勢が変わったのではないかと。

事務局	山鳥坂ダムの事業は、松前町に関係する事項が平成 20 年に（中予広域水道企業団が）解散した時点でなくなった。松前町が関わっていた部分を記載し、解散後については中予広域での協定を締結している説明を加えているので、この形で掲載させていただきたい。
会長（議長）	質問・意見なし 「行政編（行政（議会）、生活環境）の原稿について」終了。
会長（議長）	事務局へ報告依頼「その他」
事務局	【説明の概要】 ・次回の審議会は、9 月から 10 月に開催予定。原稿量が多くなると想定されるため、審議会の 1 か月前を目途に原稿を送付するのではなく、完成した原稿から随時送付していく。
審議会終了	